

(3) 骨材

新潟県

記事提供：(一社)新潟県砂利碎石協会

新潟県における令和元年度4月～6月期の骨材需給は、前年度同期と比較して、公共事業の発注の動きが届いていないため、県計では、出荷量が9%減、生産量が7%減となった。

地区別に前年度同期比で見ると、上越地区では、出荷量が18%減、生産量が12%減、中越地区は、出荷量が7%減、生産量が1%増、下越地区は、出荷量が前年と同じ、生産量が7%減、佐渡地区は、出荷量が22%減、生産量が19%減となった。

6月末の在庫量は、前年度末より5%増、前年同期比では2%増となった。

富山県

記事提供：富山県土石業協同組合連合会

富山県における令和元年度4月～6月期の骨材の需給は、前年同期に比べて、県全体では出荷量は5%減、生産量は19%減となった。

地区別の前年同期比では、東部地区は出荷量が28%減、生産量が30%減、西部地区は出荷量が18%増、生産量が9%減となった。

6月末在庫量は、前年同期比で東部地区では22%減、西部地区では2%増となり、県全体では17%減となった。

※ 東部地区で数値が大きく変動しているのは、同地区内の1組合が今年度に入り機能停止状態に陥ったため、必要なデータが得られなくなったことによるものである。

石川県

記事提供：石川県骨材協同組合連合会

石川県における令和元年度4～6月期の骨材(県内産)の需給状況は、これまで好調な出荷が続いていた南加賀地区の北陸新幹線関連の需要が、ピークを越え下降線を辿り出したことから今期の加賀地区の出荷は前年同期比で10期ぶりの減少となった。これにより、県計全体の出荷量は前年同期と比べて9%の減少となった。

4～6月期の地区別の出荷量の比較では、加賀地区は前年同期と比べて、陸砂利・川砂利が前年同期と同量の横ばいを維持したものの、同地区の山砕石が32%の大幅な減少となったことから、総じて加賀地区の出荷量は10%の減少となった。なお能登地区は、県外からの流入材に押されて量的に少ない中、何とか今期は前年同期と同量の出荷を確保した。

その今期の出荷量の内訳を見ると、加賀地区の主要生産地である手取川扇状地産の陸砂利と川砂利については、主要な需要先である生コン業者向けの出荷では、大口需要の金沢地区が前期に引き続き3%の増加となったものの、好調が続いていた南加賀地区が6月に入りやや失速し、前年同期比で1%の減少となった。またアスファルト合材業者向けの出荷は、今期も低調で前年同期比で16%の減少となった。よって、以上を含む今期の加賀地区における手取産陸砂利と川砂利の全体の出荷は、前年同期と同量の横ばいとなった。

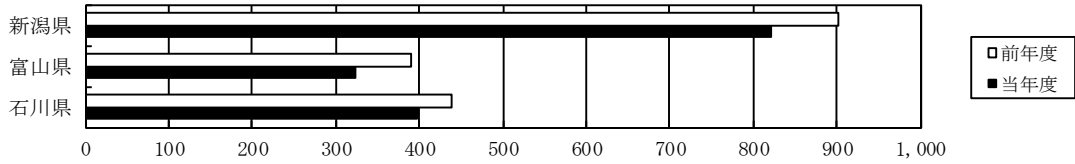
一方、路盤材を主体とする加賀地区の山砕石は、大型スポット物件の終了等の影響から今期は前年同期比で32%の大幅な減少となった。

また能登地区の山砕石については、今期は前年同期比で横ばいを維持したが、やはり実質的な販売量は県外からの流入材に押されてまだまだ少なく、依然としてこの地区の地場産業者の需要環境は、厳しい状況が続いている。

生産量については、加賀・能登地区共に今期も概ね出荷量に合わせた生産体制をとっており、県計では前年同期比で9%の減産となった。

在庫量は、加賀地区の陸砂利と川砂利の在庫がややひっ迫状態があるものの、山砕石の在庫が出荷の減少からやや積み上がり気味となったことから、県計全体の前年同期比では3%の増加となった。

骨材出荷量の推移（4月～6月期）



(単位：千m³、%)

県	地区	区分	平成30年度 年計	令和元年度				
				4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	累計
新潟県	上越	出荷量	26	▲18				▲18
		生産量	990	214			214	
		在庫量	31	▲12			▲12	
	中越	出荷量	974	238			238	
		生産量	▲9	▲1			▲1	
		在庫量	157	181			181	
	下越	出荷量	3	▲7			▲7	
		生産量	1,095	247			247	
		在庫量	3	1			1	
	佐渡	出荷量	1,059	255			255	
		生産量	▲11	▲6			▲6	
		在庫量	290	296			296	
	県計	出荷量	7	0			0	
		生産量	1,312	314			314	
		在庫量	15	▲7			▲7	
富山県	東部	出荷量	1,379	340			340	
		生産量	10	6			6	
		在庫量	750	777			777	
	西部	出荷量	30	▲22			▲22	
		生産量	261	47			47	
		在庫量	32	▲19			▲19	
	県計	出荷量	257	48			48	
		生産量	▲10	▲8			▲8	
		在庫量	35	35			35	
	石川県	加賀	出荷量	12	▲9			▲9
			生産量	3,658	822			822
			在庫量	16	▲7			▲7
		能登	出荷量	3,669	881			881
			生産量	1	2			2
			在庫量	1,232	1,289			1,289
県計		出荷量	▲16	▲28			▲81	
		生産量	684	139			139	
		在庫量	▲15	▲30			▲81	
石川県		加賀	出荷量	646	135			135
			生産量	▲20	▲35			▲35
			在庫量	160	104			104
		能登	出荷量	▲6	▲6			▲78
			生産量	840	185			185
			在庫量	▲5	▲9			▲78
	県計	出荷量	836	187			187	
		生産量	▲7	2			2	
		在庫量	39	47			47	
	石川県	加賀	出荷量	▲11	▲17			▲80
			生産量	1,524	324			324
			在庫量	▲9	▲19			▲80
		能登	出荷量	1,482	322			322
			生産量	▲17	▲27			▲27
			在庫量	199	151			151
県計		出荷量	20	▲10			▲78	
		生産量	1,465	390			390	
		在庫量	22	▲8			▲77	
石川県		加賀	出荷量	1,458	400			400
			生産量	▲5	3			3
			在庫量	143	154			154
		能登	出荷量	24	0			▲70
			生産量	26	8			8
			在庫量	17	▲12			▲75
	県計	出荷量	28	7			7	
		生産量	25	0			0	
		在庫量	10	10			10	
	石川県	加賀	出荷量	21	▲9			▲77
			生産量	1,491	398			398
			在庫量	22	▲9			▲77
		能登	出荷量	1,486	407			407
			生産量	▲3	3			3
			在庫量	153	164			164

(注)・上段は前年同期との比較

・集計は、新潟県

会員115社のうち115社

富山県

会員86社のうち86社

非会員 1社のうち 1社

石川県

会員21社のうち21社 (委託加工業者含む)

非会員16社のうち9社

(本データは、陸砂利・川砂利及び山砕石の数量である。)